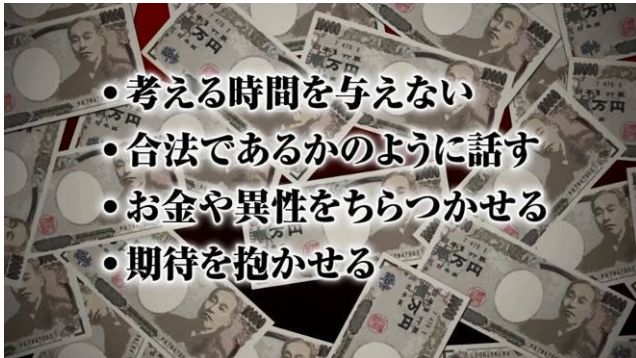


## ◆ セルゴト鎮静化の今、不正勧誘への対応見直しを！

過去(2019年12月度まで)、スロット旧基準機において、様々なメーカーを狙った《ATセルゴト》の被害が多発していましたが、旧基準機(被害機種)の撤去が進み、現在は沈静化しております。

ただ、基板交換などの仕込みゴトに関しましては、依然その被害が確認されている状況であり、内部不正を目論むゴト師の不正勧誘には特に注意が必要です。

### 不正勧誘・内部不正の手口



主にターゲットにされる従業員は、事前にゴト師グループによって調査(金融機関のブラックリストに載っていないか/犯罪意識を持ち合わせていないかなど)されていることが考えられます。

いざ勧誘する際には身辺調査を十分に済ませたうえで不正勧誘が行われることが殆どです。

内部不正の手口は様々ですが、いずれも一度その道に入ってしまうと、金銭感覚はマヒし、発覚するまで抜け出すことのできないことは言うまでもありません。

特に「設定漏洩」に関しては、本部サイドでしっかり確認・管理する体制が必要不可欠であり、多くの役職者も「疑われるくらいなら管理をしっかりしてもらいたい」という声があることも事実です。

### 内部不正の手口

設定漏洩	計数機への不正品
不正基板の取付け	合鍵作成
不正配線の取付け	売上金操作
賞品の横流し	不正行為の見逃し
玉、メダルの横流し	録画映像の消去
カード不正操作	店舗への侵入幫助
不正レシート発券	企業情報等の漏洩
etc...	

### 万が一、不正勧誘に遭った場合は…



企業(店舗)側で、「勧誘に遭ったら即報告・相談を！」と常日頃言っていたとしても、相談できる人がいなかったり、聞き入れてもらえるような体制でなかったり、といったケースは少なくありません。

昨今の業界の取り組み、および各店の不正対策強化によって、不正品を遊技台に仕込む行為は、ゴト師にとって相当のリスクを伴うものとなっております。

ゴト師側のリスクを軽減するために、「従業員」や「取扱主任者」、「運送業者のドライバー」などをターゲットに勧誘が行われるのも頷ける状況にありますが、その先に待ち受けている現実を、ぜひ管理者様から従業員の皆様へ指導していただきますようお願いいたします。